



神経病院

〒183-0042

東京都府中市武蔵台二丁目6番1号

電話 042-323-5110

病院の概要

脳神経系疾患に対する内科系および外科系臨床科を網羅した高度専門病院です。神経疾患に特化した専門病院としては国内最大規模を誇ります。有床標榜科は脳神経内科・脳神経外科・神経小児科・神経眼科・神経耳科・麻酔科であり、これに神経精神科・リハビリテーション科・神経放射線科・歯科を加えた10の診療科があります。

稼働病床296床のうち、脳神経内科が218床を占め、33名の脳神経内科医（うち神経内科専門医26名）が、あらゆる神経疾患の診療にあたっています。また神経救急医療から慢性期ケア、終末期緩和治療、病理解剖に至るまで神経疾患に関する高度専門医療を提供しています。

さらに、地域連携・多職種連携による切れ目のない神経難病診療を特徴としています。患者・地域サポートセンターを中心とした往診制度により、患者を長期にわたってフォローできる他、院内の多職種チームが摂食嚥下や呼吸器装着などをサポートしています。

■ 診療科目

脳神経内科 神経精神科 神経小児科 脳神経外科 神経眼科 神経耳科 リハビリテーション科
神経放射線科 麻酔科 歯科

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院）

- ・内科（広尾 / 大久保 / 大塚 / 駒込 / 荏原 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩北 / 多摩南）
- ・小児科（墨東）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 荏原 / 墨東 / 多摩総合 / 東部）
- ・耳鼻咽喉科（多摩総合）
- ・病理科（多摩総合）
- ・放射線科（駒込）
- ・総合診療科（多摩総合）



（令和5年度院内修了式）

臨床研修委員会委員長からのひとこと



脳神経内科部長
蕨 陽子

私たち都立神経病院は、脳神経内科だけで7病棟・200床以上もある、世界でも有数の神経専門病院です。毎週40～50名の神経難病患者さんが入退院し、脳炎やギラン・バレー症候群で集中治療を行う急性期の患者さんも大勢います。また、診断や初期治療から呼吸器装着、リハビリテーション、在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめることができます。そのため神経内科専門医試験の合格率はほぼ100%です。

都立神経病院では、初期研修後の方が4年間で内科と神経内科の2つの専門医を取得できるコースと、内科修了後の方が神経内科専門医を目指すサブスペシャリティ・コースを設置してきました。この度、サブスペシャリティ・コースとして脳神経内科の神経生理・認知症・てんかんコースと、小児神経コースを増設し、これまで以上に専門性の高い研修が可能になりました。

令和11年の新病院開設に向けて、一緒に神経病院をさらに発展させる意欲ある医師を募集します。全国最大規模を誇る神経専門病院で、格段に豊富な症例を診療しながら、国際学会や論文執筆にも挑戦してください。後期研修を修了した後は、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士号を目指す道もあります。皆さんの期待を裏切らない研修ができるはずです。ご見学申し込みを心よりお待ちしております。

シニアレジデントからのひとこと



脳神経内科
3年次
戸谷 圭吾

私は卒後5年目、医師アカデミー制度で神経病院にて研修をしています。内科研修に引き続いて、神経病院で半年間研修し、色々とお見えてきたことがあるので皆様にお伝えいたします。

一つ目のメリットは、神経専門病院として脳神経内科だけでも200床以上という国内随一の病床数と、それに支えられた豊富な症例数だと思います。実際にその疾患を診療したことがある、という経験を積むことができます。

また神経病院には、シニアレジデントが主体的に診療をしていながら、患者のことをしっかりと考え抜くことができる環境があります。症例に対するアプローチの仕方、主治医としての対応力が身についていきます。かといって、そこにフィードバックがないわけではありません。神経病院には28名もの神経内科専門医がいます。指導医だけでなく、病棟の垣根を越えて専門分野の先生に相談ができます。それは患者にとっても非常に素晴らしい環境だと私は考えます。

神経疾患の診療の中で、診断や急性期治療だけではなく、慢性期治療、呼吸器装着や胃瘻造設、リハビリテーション、在宅診療、病理解剖まで、その多くに携わることが出来るのも、神経病院の強みだと思います。

最後に、神経病院には学閥などはありません。みなさん、出身大学や年次など忘れて毎日一緒に楽しく仕事をしています。



(神経生理講義 (ハンズオン))



(HALによるロボットリハビリテーション)